



RINKO

証券コード：9355

株式会社 リンコー コーポレーション

第 156 期

年 次 報 告 書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

リンコーグループ経営理念



目次

リンコーグループ経営理念／目次	1	トピックス	9
株主の皆様へ／当期連結業績ハイライト	2	株式の状況	11
トップインタビュー	3	会社の概要	12
各事業の概況	5	ホームページのご紹介	13
連結財務諸表	7	株式についてのご案内	14

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社、株式会社リンコーコーポレーションの「第156期 年次報告書」（平成28年4月1日～平成29年3月31日）をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

株主の皆様の日頃のご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

代表取締役社長

南波 秀憲



当期連結業績ハイライト

売上高

15,956百万円

前期比 △3.2%

営業利益

468百万円

前期比 △17.3%

経常利益

458百万円

前期比 △14.6%

親会社株主に帰属
する当期純利益

316百万円

前期比 △21.7%

Q1 当期の概況についてお聞かせください。

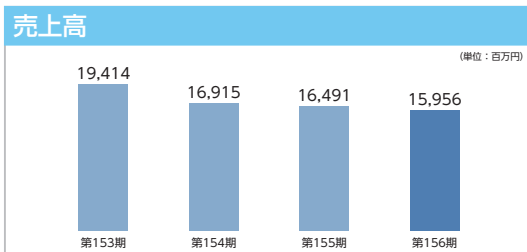
日本経済を振り返ると、当期は円安や海外経済の追い風を受け輸出が持ち直したことで企業業績や雇用情勢の緩やかな回復傾向が続いた一方、個人消費の伸びは将来不安の高まりもあり力強さを欠きましたが、景気は年間を通して緩やかな改善基調が持続しました。

新潟県内の経済は、年度後半に公共・住宅投資が下げ止まるなど一部に持ち直しの兆しが見られましたが、新潟港では、コンテナ貨物の取扱数量が輸出入ともに前期比で減少し、依然として停滞が続いております。

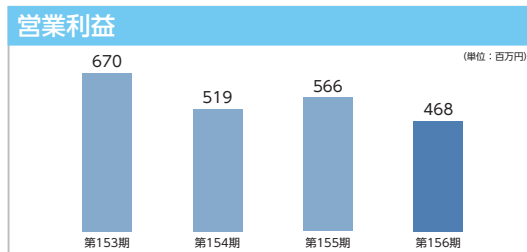
このような情勢の中、当社企業グループでは、運輸部門において既存貨物の取扱拡充と新規貨物の獲得に努めて参りましたが、一般貨物・コンテナ貨物ともに取扱数量の減少傾向が続き、低調な推移となりました。一方、ホテル事業部門においては株式会社ホテル新潟が、宿泊客数や大型宴会件数の増加等により好調を維持し、株式会社ホテル大佐渡も夏季の天候不良の影響等で宿泊客数は減少したものの、修繕費等の削減により増益となり、ホテル事業部門が低調なグループ全体の収益を下支えしました。

この結果、当期連結の売上高は159億5千6百万円（前期比3.2%の減収）、営業利益は4億6千8百万円（前期比17.3%の減益）、経常利益は4億5千8百万円（前期比14.6%の減益）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は3億1千6百万円（前期比21.7%の減益）となりました。

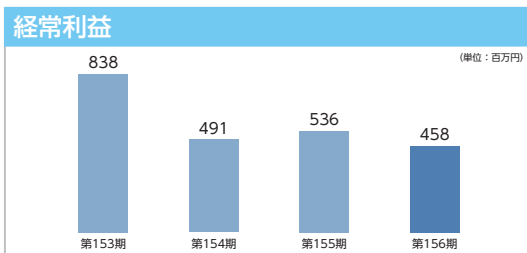
業績の推移（連結）



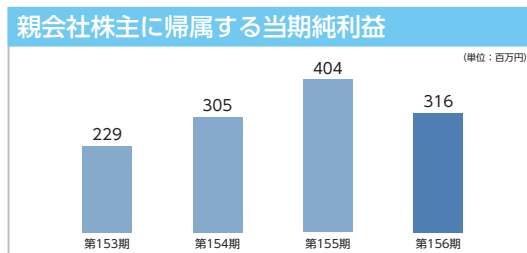
15,956百万円 前期比 △3.2%



468百万円 前期比 △17.3%



458百万円 前期比 △14.6%



316百万円 前期比 △21.7%

Q2 中長期経営計画の進捗状況についてお聞かせください。

平成27年12月、「リンコーグループ中長期経営計画」を策定し、5年後の平成32年を目途に連結営業利益7億円、連結利益剰余金30億円以上、有利子負債残高100億円以下を目標といたしました。当期（平成28年度）は、この計画のスタートの年となり、連結利益剰余金は24億1千4百万円と前期比で2億3千9百万円増加、有利子負債残高は105億8千2百万円と前期比で8億1千8百万円減少いたしました。しかしながら、連結営業利益は当期の概況のとおり、運輸部門における貨物取扱数量の減少傾向が続いたこと等により、前期比で減少いたしました。

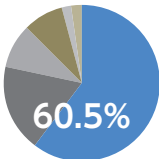
当社企業グループの経営環境は、益々厳しさを増しておりますが、目標達成に向け、当社企業グループ一丸となって難局を乗り越え、今後の業績向上に全力をあげて参ります。

中長期経営計画期間中の数値目標

	平成28年3月期（実績）	平成29年3月期（実績）		平成33年3月期（計画）
連結営業利益	5.6億円	4.6億円		7.0億円
有利子負債残高	113億円	105億円		100億円以下
連結利益剰余金	21億円	24億円		30億円以上

各事業の概況

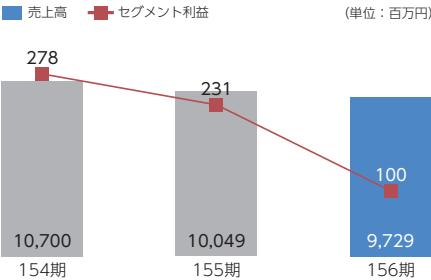
運 輸 部 門



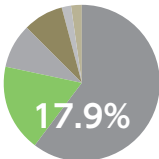
売上高 セグメント利益
9,729百万円 **100百万円**

既存貨物の取扱拡充と新規貨物の獲得に努めて参りましたが、貨物の取扱数量の減少傾向に歯止めが掛からず、当社運輸部門及び運輸系子会社を合わせた港湾運送事業における船内取扱数量は553万8千トン（前期比2.7%の減少）となりました。一般貨物全体としての取扱数量は微減となりましたが、特に既存の主要貨物の取扱数量の減少が収支に影響いたしました。またコンテナ貨物の取扱数量は輸出入ともに減少いたしました。

これらの結果、当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の売上高は97億2千9百万円（前期比3.2%の減収）、セグメント利益は1億円（前期比56.8%の減益）となりました。



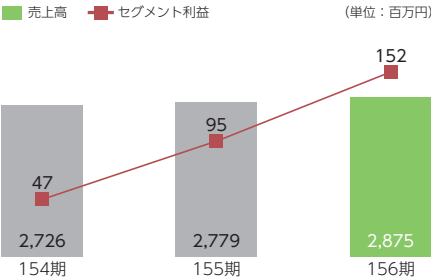
ホ テ ル 事 業 部 門



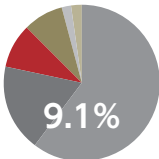
売上高 セグメント利益
2,875百万円 **152百万円**

株式会社ホテル新潟では、婚礼宴会は低調に推移しましたが、宿泊客数や大型の一般宴会の件数が増加し、レストラン部門も堅調に推移いたしました。経費面でも見直しを進めた結果、同社は前期比で増収増益となりました。また、株式会社ホテル大佐渡では、インターネット宿泊予約の強化等に取り組んだものの、夏季の天候不順の影響等もあり宿泊客数が減少し、前期比で減収となりましたが、修繕費や光熱費の削減により増益となりました。

これらの結果、同部門の売上高は28億7千5百万円（前期比3.5%の増収）、セグメント利益は1億5千2百万円（前期比59.4%の増益）となりました。

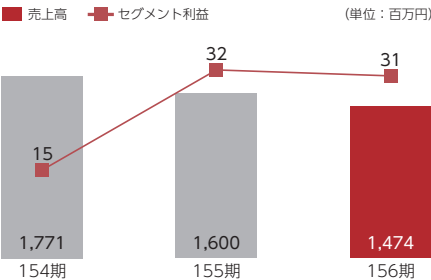


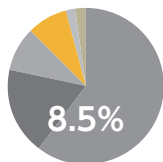
商 品 販 売 部 門



売上高 セグメント利益
1,474百万円 **31百万円**

建設資材の販売は、戸建着工数の増加傾向により住宅用部材の取扱が順調に推移しましたが、公共工事の減少によりセメント販売は低調に推移いたしました。また、荷役関連商品を中心とした一般商品の販売も全体的に低調に推移しました結果、同部門の売上高は14億7千4百万円（前期比7.9%の減収）、セグメント利益は3千1百万円（前期比3.1%の減益）となりました。

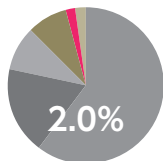
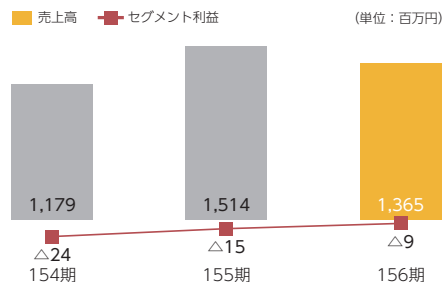




機 械 販 売 部 門

売上高 1,365百万円
セグメント利益 ▲9百万円

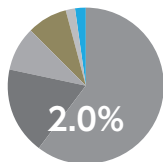
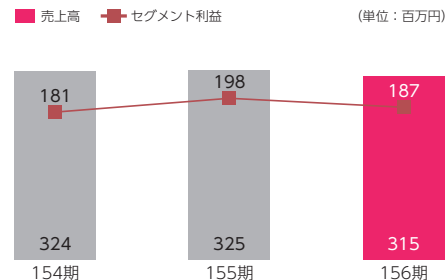
機械販売については、景気の先行き不透明感から販売案件が減少したことにより大幅な減収となりましたが、機械整備につきましては、受注件数が増加した結果、同部門の売上高は13億6千5百万円（前期比9.9%の減収）、セグメント損失は9百万円（前期は1千5百万円のセグメント損失）となりました。



不 動 産 部 門

売上高 315百万円
セグメント利益 187百万円

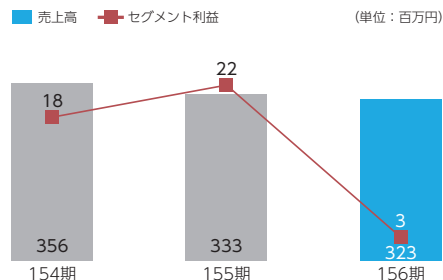
大口の新規賃貸契約の締結がありましたが、短期賃貸契約の終了や、既存賃貸契約の中途解約等による減収の影響、賃貸物件に係る修繕費の増加等により、同部門の売上高は3億1千5百万円（前期比3.0%の減収）、セグメント利益は1億8千7百万円（前期比5.3%の減益）となりました。



そ の 他

売上高 323百万円
セグメント利益 3百万円

保険代理店業、産業廃棄物の処理業、OA機器販売を合わせましたその他の売上高は3億2千3百万円（前期比3.0%の減収）、セグメント利益は3百万円（前期比85.8%の減益）となりました。



※1. 円グラフはセグメント別売上高の割合を示すものです。

※2. 第156期におきましてセグメント売上高は、各セグメント間の内部売上高または振替高を含み、それらの合計は1億2千8百万円であり、各セグメント間の取引は、市場実勢価格に基づいており、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第156期 平成29年3月31日現在	第155期 平成28年3月31日現在	前期比 (%)	増減
(資産の部)				
流動資産	4,021	4,316	93.2	△ 295
固定資産	32,051	31,734	101.0	317
有形固定資産	28,830	28,939	99.6	△ 109
無形固定資産	27	14	192.9	13
投資その他の資産	3,193	2,780	114.9	413
繰延資産	2	4	50.0	△ 2
資産合計	36,076	36,054	100.1	22
(負債の部)				
流動負債	8,847	9,414	94.0	△ 567
固定負債	12,614	12,680	99.5	△ 66
負債合計	21,462	22,095	97.1	△ 633
(純資産の部)				
株主資本	5,166	4,926	104.9	240
資本金	1,950	1,950	100.0	0
資本剰余金	809	809	100.0	0
利益剰余金	2,414	2,174	111.0	240
自己株式	△ 6	△ 6	100.0	0
その他の包括利益累計額	9,447	9,032	104.6	415
純資産合計	14,613	13,959	104.7	654
負債純資産合計	36,076	36,054	100.1	22

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第156期 平成28年4月 1 日から 平成29年3月31日まで	第155期 平成27年4月 1 日から 平成28年3月31日まで
売上高	15,956	16,491
売上原価	14,141	14,587
売上総利益	1,814	1,904
販売費及び一般管理費	1,346	1,338
営業利益	468	566
営業外収益	93	103
営業外費用	103	132
経常利益	458	536
特別利益	19	12
特別損失	36	38
税金等調整前当期純利益	441	509
法人税、住民税及び事業税	103	98
過年度法人税等	17	—
法人税等調整額	4	6
当期純利益	316	404
親会社株主に帰属する当期純利益	316	404

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

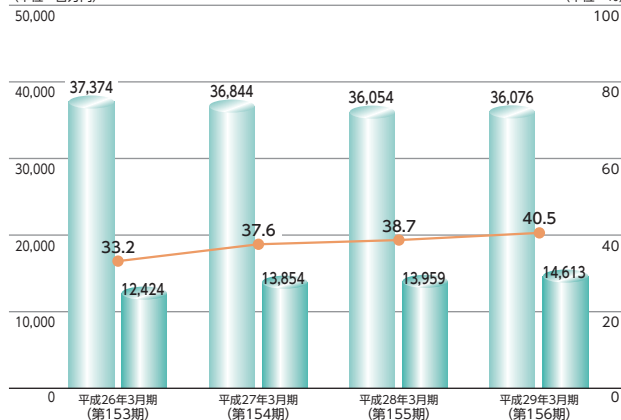
科 目	第156期 平成28年4月 1 日から 平成29年3月31日まで	第155期 平成27年4月 1 日から 平成28年3月31日まで	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,246	1,567	△ 321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 418	△ 141	△ 277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,004	△ 1,272	268
現金及び現金同等物の増減額	△ 177	153	△ 330
現金及び現金同等物の期首残高	590	436	154
現金及び現金同等物の期末残高	413	590	△ 177

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 総資産 ● 純資産 ● 自己資本比率

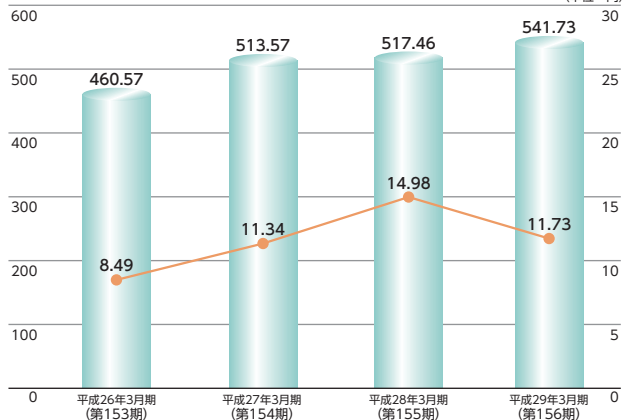
(単位：百万円)

(単位：%)



● 1株あたり純資産 ● 1株あたり当期純利益

(単位：円)



「認定通関業者」として認定されました



当社は、平成29年4月25日付で、東京税関長よりAEO制度における「認定通関業者」として認定を受けました。

AEO (Authorized Economic Operator) とは、国際物流におけるセキュリティ確保と通関手続きの円滑化との両立を目的とし、貨物のセキュリティ管理と法令遵守の体制が整備された事業者として税関長の認定を受けた通関業者(認定通関業者)に対し、税関手続きの緩和・簡素化策が提供される制度のことです。

当社は、今後もより一層、セキュリティ管理の徹底及びコンプライアンス体制の強化を図り、お客様に最適な物流サービスのご提供に努めて参ります。

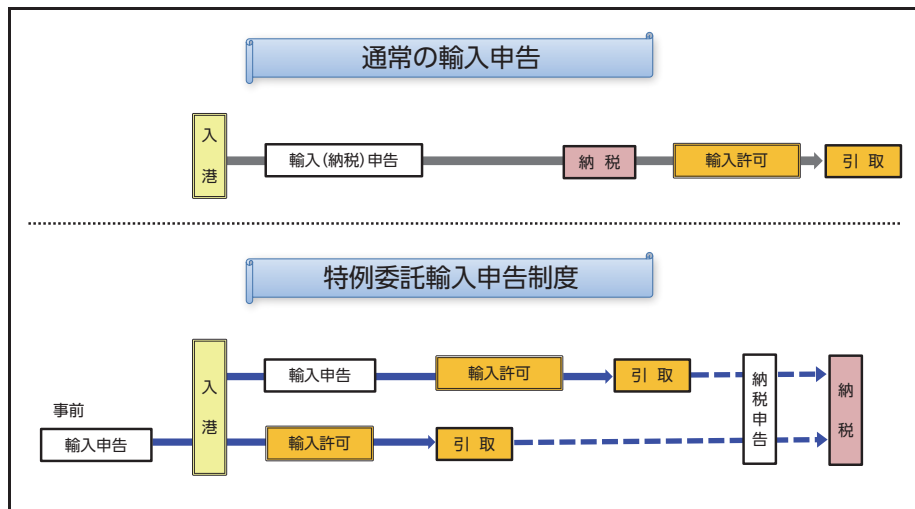


【認定通関業者のメリット】

1. 輸入者の依頼により行う輸入貨物の通関手続
貨物の引取り後に納税申告を行える（特例委託輸入申告制度）ことにより、輸入貨物の一層の迅速かつ円滑な引取りが可能となる等、その利便性が向上します。
2. 輸出者の依頼により行う輸出貨物の通関手続
特定保税運送者による運送等を前提に、保税地域以外の場所にある貨物について輸出申告を行える（特定委託輸出申告制度）ことにより、リードタイム及びコストの削減等が図られます。

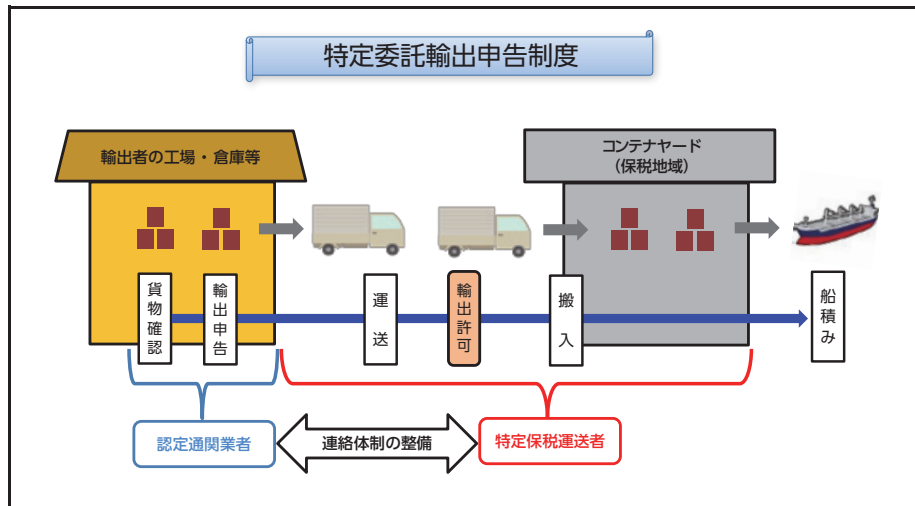
【特例委託輸入申告制度】

認定通関業者は、輸入者から輸入貨物の通関手続の依頼を受けた場合、輸入者による担保の提供を条件に当該貨物が保税地域に搬入される前に輸入申告し、貨物を引き取った後に納税申告を行うことができます。さらに、同一の輸入者に係る納税申告を一括して行うことができます。

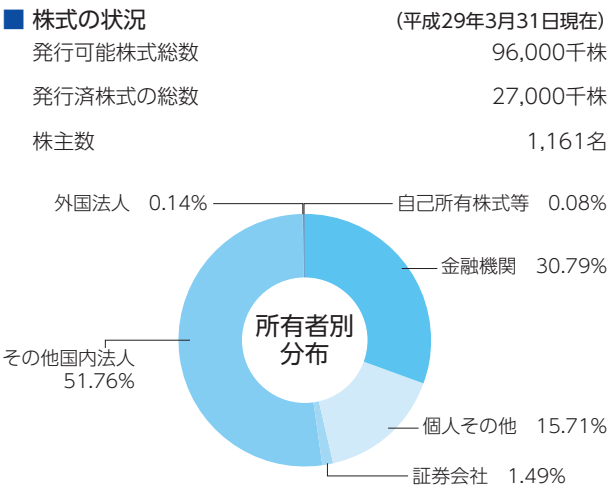


【特定委託輸出申告制度】

認定通関業者は、輸出者から通関手続の依頼を受けた場合、保税地域以外の場所にある貨物について輸出申告を行うことができます。この場合、当該貨物を外国貿易船等に積み込もうとする開港または税関空港までの運送は、税関長の承認を受けた特定保税運送者が行うことになります。



株式の状況

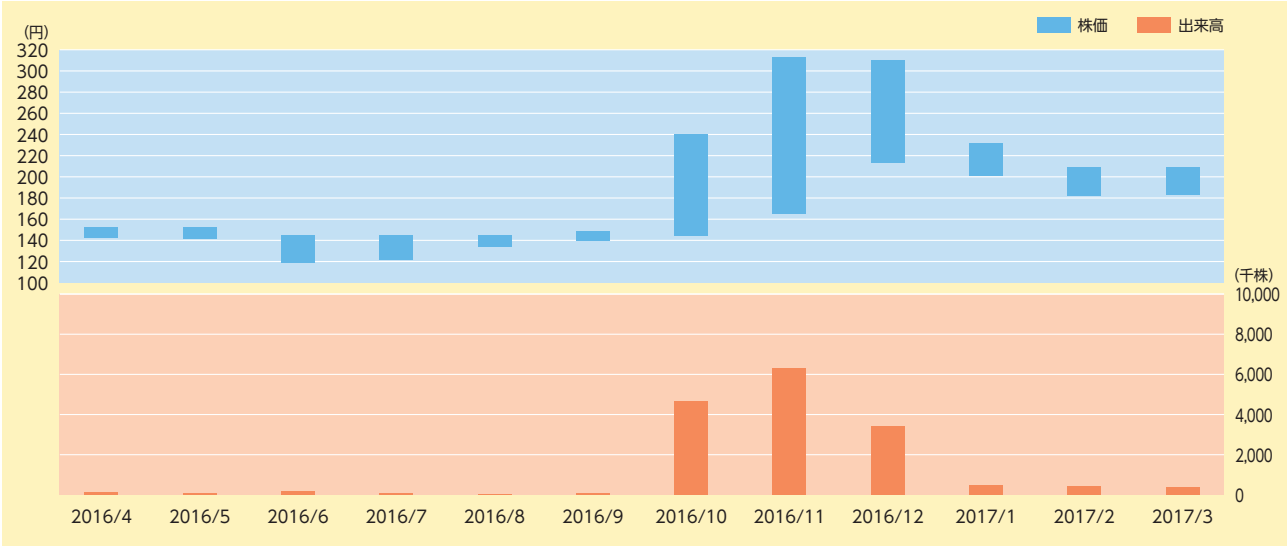


■ 大株主 (平成29年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
川崎汽船(株)	6,539	24.2
JFEスチール(株)	2,335	8.7
三井住友海上火災保険(株)	1,375	5.1
みずほ銀行	1,346	5.0
みずほ信託銀行(株)	1,346	5.0
第四銀行	1,345	5.0
(公財)福田育英会	1,206	4.5
川崎重工業(株)	1,085	4.0
住友生命保険(相)	945	3.5
東京海上日動火災保険(株)	607	2.3

(注) 出資比率は自己株式 (23,540株) を控除して計算しております。

■ 株価、出来高の推移 (平成28年4月～平成29年3月)



会社の概要

■ 会社概要

(平成29年3月31日現在)

商 号 株式会社リンコーコーポレーション
資 本 金 19億5千万円
創 立 明治38年11月（西暦1905年）
従 業 員 数 379名
事 業 の 内 容

1. 港湾運送事業
2. 通関業
3. 貨物自動車運送事業
4. 貨物利用運送事業
5. 倉庫業
6. 船舶碇繋場業
7. 海上運送事業
8. 航空運送代理店業
9. 不動産の所有、売買、貸借、仲介および管理
10. 各種自動車・建設機械・機械式駐車設備・昇降機・天井クレーン・コンプレッサーなど各種機械および同部品・付属品の販売ならびに賃貸、自動車分解整備事業
11. 産業廃棄物処理業および産業廃棄物、一般廃棄物の再生処理業
12. 損害保険・自動車損害賠償保障法に基づく保険の代理業
13. ホテル経営
14. 物品の売買およびリース業
15. 前各号に附帯関連する事業

■ 事業所の所在地

(平成29年4月1日現在)

本 社 新潟市中央区万代五丁目11番30号
☎ (025) 245-4113
東 京 支 社 東京都千代田区岩本町二丁目1番18号 フォロ・エムビル6階
☎ (03) 3864-2424
東 港 支 社 新潟県北蒲原郡聖籠町東港三丁目170番地16
☎ (025) 256-4120
東 港 コ ン テ ナ 新潟市北区横土居3228番地2 新潟東港コンテナターミナル管理棟3階
ターミナル事務所 ☎ (025) 388-1011
臨 港 支 店 新潟市東区臨港町二丁目4914番地380
☎ (025) 274-5181
直 江 津 支 店 新潟県上越市港町一丁目9番1号 佐渡汽船ターミナルビル3階
☎ (025) 543-4207
海外連絡事務所 中国・上海

■ 役 員

(平成29年6月23日現在)

代表取締役社長	南 波 秀 憲	常 任 監 査 役	柴 沢 達 彦
社 長 執 行 役 員			
専 務 取 締 役	山 下 和 男	監 査 役	藤 村 俊 生
専 務 執 行 役 員			
取 締 役	中 野 尚 栄	監 査 役	渡 邊 陽 一
常 務 執 行 役 員			
取 締 役	永 井 弘 明	監 査 役	河 部 香
常 務 執 行 役 員			
取 締 役	坂 牧 克 記	常 務 執 行 役 員	鶴 巻 雅 人
常 務 執 行 役 員			
取 締 役	前 山 英 人	執 行 役 員	樋 口 幹 夫
常 務 執 行 役 員			
取 締 役	前 川 弘 幸	執 行 役 員	本 間 常 悌
取 締 役			
取 締 役	祖母井 紀 史	執 行 役 員	平 山 博
取 締 役			
取 締 役	桐 生 和 男		

※取締役 前川弘幸氏、祖母井紀史氏及び桐生和男氏は社外取締役であります。
監査役 藤村俊生氏、渡邊陽一氏及び河部香氏は社外監査役であります。

■ 連結子会社 (平成29年4月1日現在)

●株式会社ホテル新潟
〒950-8531 新潟市中央区万代5丁目11番20号 ☎025(245)3331 FAX 025(243)0493 主な事業内容 ホテル・結婚式場・レストランの経営
●株式会社ホテル大佐渡
〒952-1583 佐渡市相川鹿伏288番地2 ☎0259(74)3300 FAX 0259(74)3219 主な事業内容 ホテル・結婚式場・レストランの経営
●新光港運株式会社
〒950-0041 新潟市東区臨港町2丁目4914番地380(株)リンコーコーポレーション臨港支店2階内) ☎025(274)7366(代表) FAX 025(274)7390
主な事業内容 港湾運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫業
●リンコー運輸株式会社
〒950-0031 新潟市東区船江町1丁目6番33号 ☎025(274)7541 FAX 025(271)6109 主な事業内容 貨物自動車運送事業
●丸肥運送倉庫株式会社
〒950-3102 新潟市北区島見町芝田2434-48 ☎025(255)3535 FAX 025(255)3540 主な事業内容 港湾運送事業、貨物自動車運送事業、倉庫業
●株式会社ワイ・エス・トレーディング
〒231-0811 横浜市中区本牧ふ頭1番地 ☎045(621)6661 FAX 045(621)6655 主な事業内容 港湾運送事業、通関業

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、本誌では記載しきれないさまざまな情報をご覧ください。詳細なIRに関する情報は「IR情報」にてご確認ください。ぜひ、ご利用ください。

[トップページ](#)

<http://www.rinko.co.jp/>

IR情報

決算短信、過去の事業報告書、有価証券報告書がご覧いただけます。



ホテルご案内

当社が新潟県内で運営しておりますホテルのHPリンクがございます。
ビジネスや観光でお越しの際はぜひご利用ください。

■ANAクラウンプラザホテル新潟



■ホテル大佐渡



株式についてのご案内

定 時 株 主 総 会	毎年6月（基準日3月31日）
単 元 株 式 数	1,000株 ※単元株式数は、平成29年10月1日を効力発生日として1,000株から100株に変更いたします。
公 告 掲 載 方 法	当社のホームページ（ http://www.rinko.co.jp/kessan ）に掲載します。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、新聞（新潟日報）に掲載します。
株 主 名 簿 管 理 人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵 便 物 送 付 先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店（トラストラウンジではお取扱できません ので、ご了承ください）
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店（トラストラウンジではお取扱できませんので、ご了承ください） みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。



株式会社 リンコー コーポレーション

